

## 「第1期」の地方創生

### 人口ビジョン

#### 富山市の人口推移

総人口は今後減少局面へ  
2010年人口：421,953人

#### 中長期的展望 (2015～2060年)

目指すべき将来の展望  
2060年に人口33万人程度

出生率の向上  
富山市民の希望出生率1.92を目標

社会増の維持  
近年、転入超過による社会増傾向

50年前と同等の  
人口水準を維持

### 「第1期」総合戦略 (2015～2019年度の5年間)

基本目標1 安定した雇用を創出する  
～地方の中核を担う都市として躍動するまち～

#### 基本的方向

- ア. 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化
- イ. 新産業の創出及び公民連携による雇用の創出
- ウ. 農林水産業の成長産業化
- エ. サービス産業の活性化
- オ. 企業誘致の促進
- カ. 雇用のマッチングの強化
- キ. 企業に関する情報発信の充実
- ク. 地(知)の拠点大学との連携強化

基本目標2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる～選ばれるまち～

#### 基本的方向

- ア. 地方移住の推進
- イ. 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致
- ウ. 地域資源を活用したコンテンツづくり
- エ. 地(知)の拠点大学との連携強化(再掲)
- オ. シティプロモーションの推進
- カ. シビックプライドの醸成

基本目標3 生活環境の一層の充実を図る  
～すべての世代が安心して暮らせるまち～

#### 基本的方向

- ア. 子ども・子育て支援の充実
- イ. ワークライフ・バランスの実現
- ウ. 総合的な生活支援サービスの提供
- エ. 健康都市の実現
- オ. 防災減災対策の推進

基本目標4 公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進める～コンパクトシティの推進～

#### 基本的方向

- ア. 公共交通と中心市街地の活性化
- イ. 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導
- ウ. 中山間地域等の地域生活拠点の形成
- エ. 既存施設のマネジメント強化

## 「第2期」の地方創生

### 「第2期」総合戦略 (2020～2024年度の5年間)

#### 策定の方向性

「第1期」総合戦略は  
概ね順調に進捗

基本目標の維持

進捗状況を勘案した  
施策の必要な見直し

新しいテーマの追加

#### 人口ビジョン 改訂の方向性

将来人口推計  
市民アンケート

人口の状況を分析

進学・仕事・結婚・出産  
等に関する意識を分析

目標人口を改めて検討  
(2060年33万人)

#### 重要と考えられる「新たな視点」

##### ・高等学校・大学等との連携強化(拡充)

将来の地方創生を担う高校生や大学生等の人材を育成し、本市への定着を図るため、様々な分野で高等教育機関の知見を活用した行政との連携強化が重要となる。

##### ・関係人口の創出(新規)

移住した「定住人口」や観光に来た「交流人口」とも異なる、地域と多様に関わる「関係人口」の創出により、地域づくりの担い手不足という課題の解決が期待される。

##### ・民間と協働した地域経営(拡充)

人口減少社会においては、PPP/PFI等による公共施設の利活用を通じて民間と協働した地域経営を行うことが重要となる。また、企業版ふるさと納税の活用など企業や個人の寄付等による地方への資金の流れを強化することも重要となる。

##### ・歩くライフスタイルの推進(新規)

まちなかの歩行空間の創出等により、まちなかに、ひとが集まる動機と居心地の良さがあり、歩きたくなるひと中心の空間を創出することが重要となる。

##### ・SDGs未来都市の推進(新規)

SDGsは、国連において、人類及び地球の持続可能な開発のために採択された課題・目標である。本市は、2018年に「SDGs未来都市」に選定され、今後、持続可能な都市の実現を目指すため、「第2期」総合戦略においても、積極的に取り組むことが重要となる。

##### ・連携中枢都市圏の連携強化(新規)

連携市町村との連携協約による、施設の相互利用や広域的なサービスの提供等、様々な連携事業を実施するものである。本市は、2017年に、富山市広域連携中枢都市圏ビジョンを策定しており、「第2期」総合戦略においても、積極的に取り組むことが重要となる。

##### ・Society.5.0の実現に向けた近未来技術の活用(新規)

情報通信技術等の未来技術は、従来の生産・流通や生活に飛躍的な進歩をもたらすものである。また、ひとを呼ぶ起爆剤としても期待されており、積極的に活用することが重要となる。